

移動式天日いか乾燥機 「カワキャンセ」

実用新案(登録第 1974017号)



衛生的で迅速な仕上り。いか加工に画期的な乾燥機です。

移動式天日いか乾燥機K40-180型は、水産加工用機器で数々の実績を誇る
鍵本鐵工が独自に設計・デザインした画期的ないか乾燥機です。
従来の天日乾燥では考えられなかった迅速な仕上り、しかも衛生的で操作も簡単。
加工量に合わせて3タイプのサイズをご用意しています。
これからのいか加工になくてはならない移動式天日いか乾燥機。
作業の能率アップのために、また品質の均一化のために、是非とも導入をお考えください。

いか加工作業の合理化を促す、5つの優れた特長。

- 1 乾燥時間の短縮** 回転させることによって起きる風の作用で、通常
の3分の一の所要時間に短縮できます。また、平均的に太陽光を
受けるので、均一な仕上りになります。
- 2 衛生的な仕上り** 常に回転しているので、ハエなどの害虫がたか
ることがありません。極めて衛生的な加工品ができあがります。
- 3 作業場の有効利用** 縦に重ねてセットできるので、通常のように広い
場所を必要としません。また、キャスターによる移動式ですから、場所

- を選ばず、また、他の作業をするときには簡単に移動できます。
- 4 優れた操作性** いかをセットするのは、備え付けのアイボルトに
掛けるだけ。後はスイッチをオンにするだけの簡単操作です。(取扱
い注意事項をよくお読みください。)
- 5 多様な用途** いかの他、乾燥加工を要するさまざまな海産物
に利用できます。ご利用に関してはご相談ください。

作業量、作業場に合わせて、
3タイプから、お選びください。

移動式天日いか乾燥機

実用新案(登録第 1974017号)

1 K40-180型 (三相200V 1.5KW)

全幅/4m 全高/2.8m~3.0m

干場数/0.8m×180本

匹数/1300~1500

2 KI5-60型 (单相100V 0.4KW)

全幅/1.5m 全高/1.8m~2.0m

干場数/0.65m×60ヵ所

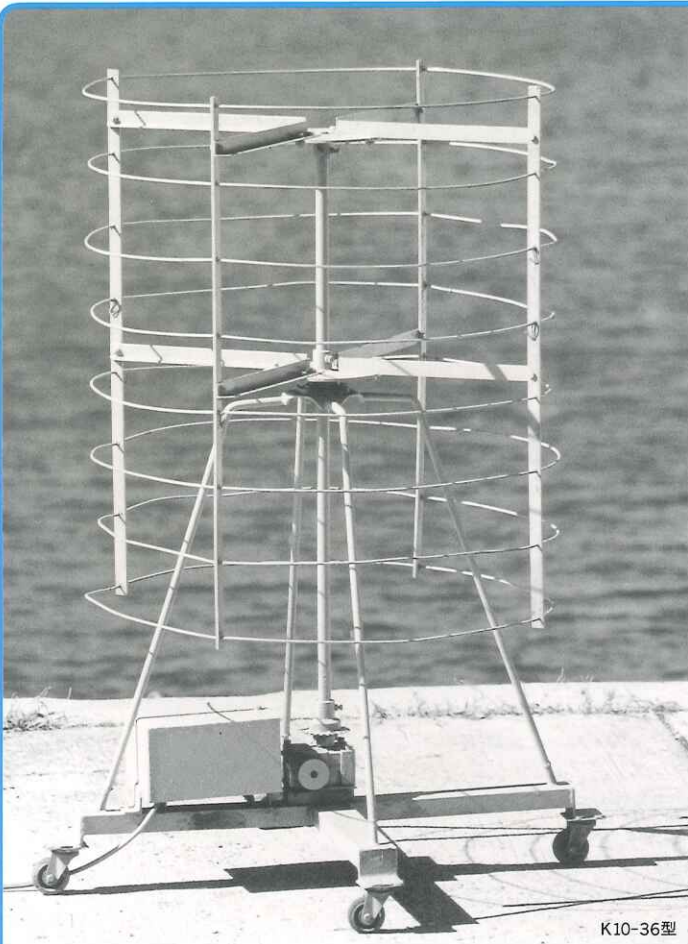
匹数/400~500

3 K10-36型 (单相100V 0.2KW)

全幅/1.0m 全高/1.8m

干場数/0.7m×36ヵ所

匹数/250~300



K10-36型

取扱い注意事項

- 始動前の点検**
1. 乾燥機を水平に据える。(震動の原因となる)
 2. いかを掛ける前に空回転をし、異音がないか確認。
 3. 運転する時(スイッチON)は声をかけて乾燥機の周囲に人がいないか確認。

- いかの掛け方**
- ★ 1. 内側下段より掛け始め、内側終了後、外側下段より掛ける。
 - ★ 2. いかをアイボルト(8mm×815mm)に掛け、内側回転部は6の倍数(6, 12, 18...)外側回転部は10の倍数(10, 20, 30...)掛けそった時、回転させる。何度も繰り返す。
 - ★ 3. アイボルトの輪の方を回転方向にする。
 - ★ 4. アイボルトの後方部を輪の部分で押さえる。
 - ★ 5. アイボルトは毎日洗浄する事。
 - 6. 短時間にいかを乾燥機に掛け終る事が良いスルメを作る第一条件である。
 - 7. 左右対称にバランスよく掛ける。バランスがくずれると震動の原因となり各部の取付部が緩み故障が発生する。

- 運転中の点検**
1. 異音がないか確認(ボルト、ナットの緩みなど)
 2. 震動がないか確認(バランスがくずれていないか)
 3. 回転数は正常か確認(ベルトの緩みはないか)
- 停止**
1. 回転が完全に停止してから、乾燥機にさわる。
- 定期点検(1ヵ月)**
1. 減速器にオイルが不足していないか。
 2. キャスター、メタル類にグリスが不足していないか。
 3. ベルトにキズはないか、又、緩みは発生していないか。
 4. 各部のセットボルトに緩みは発生していないか。
 5. 各部にサビは発生していないか。

(注) ★印は、K40-180型に適用

移動式天日いか乾燥機は、特許庁により実用新案として認可されています。
この形式によるいか乾燥機は鍵本鐵工だけの製品です。

有限会社

鍵本鐵工

長崎県上県郡峰町佐賀 16-45
電話 (対馬佐賀局) 09208-2-0020
(FAX 09208-2-0351)